

VA/V E 文献リスト (その1A)

A. 価値分析・価値工学 (VA/V E) /DTC/テアダウン

[注1] 価値分析=VA: Value Analysis/価値工学=VE: Value Engineering]

日本バリューエンジニアリング協会は、『VA/V E』を次のように定義している。

『VA/V Eとは、最低のライフサイクルコスト (C) で、必要な機能 (F) を確実に達成するために、製品・サービスの機能的研究に注ぐ組織的努力 (TFP) である』。※価値 Value=機能F/コストC

[注2] DTC: Design To Cost=デザイン・ツー・コスト (コスト・デザイン)

[注3] テアダウン/ティアダウン: Tear Down=競合他社製品を分解して調査することで、欧米では「リバース・エンジニアリング: Reverse Engineering」と呼ぶ。

I. 1990 (平成2) 年以前

- 001 「オペレーション・バリュー・アナリシス」A.O. Smith社編, 日本資材管理者協会訳, 日本資材管理者協会, 1960. 7 [日本資材管理者協会⇒日本資材管理協会]
- 002 「バリュー・アナリシス (最適購買の方法と事例)」亀岡志郎・服部明共著, 日本能率協会, 1961. 9 [日本能率協会⇒日本能率協会マネシメントセンタ]
- 003 「バリュー・エンジニアリング (コストダウンの組織的方法)」米国E. I. A編, 玉井正寿訳, ダイヤモンド社, 1961. 12 (原著) Value Engineering 1959 by E. I. A. Conference on VE, Engineering Publishers, 1959
- 004 「価値分析の進め方 (生産コスト引下げのために)」ローレンス D. マイルズ著, 産能短大価値分析研究会訳, 日刊工業新聞社, 1962. 8 (原著) Techniques of Value Analysis & Engineering (1st Edition), Lawrence D. Miles, McGraw-Hill Book Co. Inc., 1961
- 005 資材管理シリーズNO.3「価値分析実例集」日本資材管理者協会, 1962. 11
- 006 「価値工学入門 (コスト引下げの新技法)」南川利雄著, 同文館出版, 1963. 4
- 007 マネジメント新書31「バリュー・アナリシス入門」瀬口龍一著, 日本能率協会, 1963. 9 (参考) 改装版1971. 2あり
- 008 「価値分析計画の展開」光田基成著, 日刊工業新聞社, 1964. 5
- 009 「価値分析ハンドブック」アメリカ国防省 (DOD) 編, 玉井正寿監修, 産能短大VA研究会訳, 産能短大出版部, 1964. 10 (原著) DOD. Hand Book H-111, MAR. 1963 (参考) 新版1973. 8あり
- 010 資材管理シリーズNO.7「VA技術の新しい展開」西村章著, 日本資材管理者協会, 1964. 12 (参考) 資材管理, 第12巻 第10号, P44-70, 1969. 10
- 011 「価値分析教科書 (コストダウンのバイブル)」玉井正寿著, 産能短大出版部, 1965. 7
- 012 ブルーボックス B-65「コストダウンの科学 (VA価値分析入門)」今坂朔久・服部明共著, 講談社, 1966. 3
- 013 「価値分析実例集 (21社のVE活動の現状と問題点)」玉井正寿監修, 日本VE協会編, 産能短大出版部, 1967. 5
- 014 「価値分析ワークブック」米国レイセオン社編, 玉井正寿監修, 荻原洋太郎・藤田恒夫共訳, 産能短大出版部, 1967. 10
- 015 「機能分析 (エンジニアに送る価値とコストの独創的問題解決法)」玉井正寿著, 産能短大出版部, 1967. 11 (注) 第4章 7. 機能構成のモデル-機能系統図, P112-114/10. 機能系統図, P130-140
- 016 「改装版 バリュー・アナリシス入門」瀬口龍一著, 日本能率協会, 1971. 2
- 017 「製品のVDマニュアル (1/2) (2/2)」佐藤良監修, 武知孝夫・村田晃一・金田巖・吉本雄一共著, 日本経営合理化センタ, 1971. 2 [VD: Value Design=バリュー・デザイン] [日本経営合理化センタ⇒ジェムコ日本経営]
- 018 「バリューアナリシスによる事務省力化の進め方」W.J. リッジ著, 玉井正寿監修, 森田邦彦・森岡一成・中神芳夫共訳, 産能短大出版部, 1971. 8 (原著) Value Analysis for Better Management, W.J.

- Ridge, American Management Association, 1969 (参考) この改題版「業務・管理のVE」1978. 4あり
- 019 「VE (価値分析)」通商産業省企業局編, 全日本能率連盟, 1972. 5
- 020 「機能設計法」佐藤良著, 日本経営合理化センタ, 1972. 12
- 021 「VE指導用マニュアル」佐藤良・金田巖共著, 日本経営合理化センタ, 1972. 12
- 022 「T.T-STORM法」武知孝夫著, 日本経営合理化センタ, 1973. 2 [バリューエンジニアリング (日本VE協会会報), NO. 25, 1971. 6] [T.T-STORM: Takechi Takao's-Systematic Thinking of Objective Realizing Method]
- 023 儲けるための経営シリーズ1「残れる会社 (コスト意識への変革)」佐藤良著, 日本経営合理化センタ, 1973. 4
- 024 儲けるための経営シリーズ2「原点に立つ (目的意識への改革)」佐藤良著, 日本経営合理化センタ, 1973. 8
- 025 「新版 価値分析ハンドブック」アメリカ国防総省 (DOD) 編, 玉井正寿訳, 産能短大出版部, 1973. 8 (原著) DOD. Hand Book 5010.8-H, SEP. 1968
- 026 「管理・事務のバリューデザイン」佐藤良・村田晃一共著, 日本経営合理化センタ, 1974. 4
- 027 「VEアプローチ (実例による分析の手順)」A.E. マッジ著, 玉井正寿監修, 中神芳夫・山路陽三・鈴木長生共訳, 産能短大出版部, 1974. 11 (原著) Value Engineering, A Systematic Approach, Arthur E. Mudge, McGraw-Hill Book Co., 1971
- 028 「建設コストダウンへの手法 (バリュー・エンジニアリング導入のすすめ)」馬場勇著, 彰国社, 1975. 2 (参考) 続編1979. 1あり
- 029 「製品改善とコストダウンのための Value Engineering (実践と教育のためのVE TEXT)」バリューデザイン専門部執筆, 日本経営合理化センタ, 1977. 1
- 030 「VA・VEによるコストダウン入門」水戸誠一著, 中央経済社, 1977. 7
- 031 「現場のVEテキスト」石原勝吉著, 日科技連出版社, 1977. 7 (参考) 新編1991. 6あり
- 032 「業務・管理のVE」W.J. リッジ著, 玉井正寿監修, 森田邦彦・森岡一成・中神芳夫共訳, 産能大出版部, 1978. 4 (原著) Value Analysis for Better Management, W.J. Ridge, American Management Association, 1969 (参考) 「バリューアナリシスによる事務省力化の進め方」1971. 8の改題版
- 033 「VEマニュアル」二見良治著, 総合技研, 1978. 5
- 034W 「SAVEプログラムによる 実践・省エネルギーの進め方 (その計画と手順)」武知孝夫著, 日本熱エネルギー技術協会, 1978. 8 [SAVE: Systematic Approach for Valuable Energy]
- 035 現代経営工学全書8「価値分析」玉井正寿編, 森北出版, 1978. 11
- 036 「続 建設コストダウンへの手法 (バリュー・エンジニアリング実践のすすめ)」馬場勇著, 彰国社, 1979. 1
- 037 「17ステップによる 経営革新の技法 (問題解決と機会開発のためのVIプログラム)」浜脇英一著, ダイヤモンド社, 1979. 6 [VI: Value Innovation]
- 038 「VE (コストダウンをはかる改善技術)」土屋裕著, 日本HR協会編, 近代経営社, 1980. 11 (参考) この改題版「はじめてのVE」日本VE協会2010. 6あり
- 039 「VEと標準化 (その考え方と実施例)」玉井正寿編, VEと標準化編集委員会著, 日本規格協会, 1981. 3 [標準化と品質管理, 1979. 7-1980. 6連載]
- 040 経営生産実務シリーズ3「VEの技法」二見良治著, 日刊工業新聞社, 1981. 6
- 041 「VA/VEシステムと技法」ローレンス D. マイルズ著, 玉井正寿監訳, 田中武彦・中神芳夫共訳, 日刊工業新聞社, 1981. 10 (原著) Techniques of Value Analysis & Engineering (2nd Edition), Lawrence D. Miles, McGraw-Hill Book Co., 1972
- 042 新現場QC読本13「VE活動の進め方」石原勝吉著, 日科技連出版社, 1984. 5
- 043 「VE活動の実践ステップ」高原真編, 秋山兼夫著, 経営実務出版, 1984. 6
- 044 「デザイン・ツー・コストの新しい考え方とその手順」江崎通彦著, 産能大学出版部, 1984. 12
- 045 おはなし科学・技術シリーズ「おはなしVE」土屋裕・森岡一成・中神芳夫共著, 日本規格協会, 1985. 3
- 046 「図解 建設コストダウン実例集-1 (VE手法による改善例125)」馬場勇編著, 彰国社, 1985. 4 [施工 別冊, 1984. 6]

- 047 「図解 建設コストダウン事例集－2（VE手法による設計・施工の改善例）」馬場勇編著，彰国社，1985. 4 [施工 4月号臨時増刊，NO. 233]
- 048 「VE活動実践マニュアル（第1回‘83マイルズ賞受賞企業のVE戦略）」日本VE協会編，産業能率大学出版部，1985. 6
- 049 「PC-9801/E/F//M/U2/VF/VMによる VE 価値工学入門」中村剛教・関森貞夫共著，啓学出版，1985. 11
- 050 「VE 価値分析（考え方と具体的な進め方）」田中雅康著，マネジメント社，1985. 12
- 051 「VEの基本（価値分析の考え方と実践プロセス）」産能大総合研究所VMセンタ編著，産業能率大学出版部，1986. 3（参考）新付1998. 5あり
- 052 「中小企業のための VEによる製品・技術開発」倉林良雄・菅沢喜男・村田光一共著，日刊工業新聞社，1987. 1
- 053 「製品・技術連関と価値工学」倉林良雄・菅沢喜男・村田光一共著，コロナ社，1987. 4
- 054 「建設業のVEの進め方（すぐに役立つ）」上野孝著，鹿島出版会，1987. 4
- 055 「BASICによる価値分析」関森貞夫著，共立出版，1988. 2
- 056 「機能分析（企業のシステム革新・効率化の基礎的ツール）」秋山兼夫著，日本規格協会，1989. 3

II. 1991（平成3）年～2010（平成22）年

- 057 「新編 現場のVEテキスト」石原勝吉著，日科技連出版社，1991. 6
- 058 「総合的生産コスト低減の実際（TUT合理化策とVE）」渡辺大助著，日本規格協会，1991. 7 [TUT: Typen (型式) und Teile (部品)]
- 059 「パソコンによる製品機能の分析と評価（機能データベースの活用）」菅沢喜男&日本情報管理システム共著，日刊工業新聞社，1991. 9
- 060 「目的発想法」村上哲大著，都市文化社，1992. 10（参考）同一題名・ごま書房2005. 12あり
- 061 「実践価値工学（顧客満足度を高める技術）」手島直明著，日科技連出版社，1993. 4（参考）第2版「基礎編」&「応用編」2010. 6あり
- 062 「管理・間接部門の効率化マニュアル（VEアプローチによる業務改善）」秋山兼夫著，経営実務出版，1993. 12
- 063 「やさしいVEのすすめ方（コストを下げ 機能を高める手法）」根本喜夫著，日本能率協会マネジメントセンタ，1994. 7
- 064 「価値経営（VA/VE徹底応用で全天候型企業へ）」産能大学VM研究会&秋山兼夫共編著，日刊工業新聞社，1994. 9
- 065 「VEがやさしくわかる本（低コストで価値ある商品を作りだす具体的進め方）」小川政夫著，日本実業出版社，1994. 12
- 066 「設計VEによるコストダウン手法の実践・実務資料集」佐藤隆良著，綜合ユニコム，1995. 6
- 067 「バリュー・エンジニアリング入門」秋山兼夫著，日本規格協会，1995. 11
- 068 施工別冊「建設VEの実践的活用術（良いものを安く提供するための具体策）」フジタ・技術本部VE推進部編著，彰国社，1996. 3
- 069 「VE発想法で 特許を取ろう」二木健治著，近代文芸社，1996. 3
- 070 「実践決定版 バリューエンジニアリング（ワークシート付）」佐藤嘉彦著，ユーリーグ，1996. 9
- 071 「VEによる製品開発活動20のステップ（顧客本位の製品活動をめざして）」澤口学著，同友館，1996. 9
- 072 「新プロジェクト管理の方法（DTCN/DTCの考え方とその方法）」江崎通彦著，アスキー総合研究所発行/アスキー出版局発売，1997. 5 [DTCN: Design To Customers Need]
- 073 「競合製品の分解技法（テアダウンの実際）」中川威著，日本能率協会マネジメントセンタ，1997. 8
- 074 「建設VE実践マニュアル（大幅コストダウンの実現）」秋山兼夫著，産能大出版部，1997. 9
- 075 「テアダウンのすべて（究極のベンチマーキング）」佐藤嘉彦著，日経メカニカル編，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，1997. 11
- 076 「新・VEの基本（価値分析の考え方と実践プロセス）」土屋裕監修，産業能率大学VE研究グループ

- 著, 産業能率大学出版部, 1998. 5
- 077 「建設VE (米国VEのすべて 制度から実例まで)」国際建設技術協会編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1998. 5
- 078 日経メカニカル別冊「元気になるVE (事例で学ぶ応用と実践)」佐藤嘉彦著, 日経メカニカル編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1999. 4
- 079 「公共建築VE: その進め方と実例」建築コスト管理システム研究会編, 大成出版社, 2000. 11
- 080 「コストデザインの構築と実践 (低コスト体質をつくる戦略的原価管理)」山崎登志雄著, かんき出版, 2000. 11
- 081 「建設VE入門」秋山兼夫著, 日本規格協会, 2001. 9
- 082 「建設プロジェクトにおけるVEの活用」アルフォンス・J. デリソーラ著, 上野一郎監修, 嘉納成男・土屋裕・中神芳夫共訳, 産業能率大学出版部, 2001. 10 (原著) Value Engineering: Practical Applications, Alphonse J. Dell'Isola, R.S. Means Company Inc., 1997
- 083 「VEとTRIZ (革新的なテクノロジーマネジメント手法入門)」澤口学著, 同友館, 2002. 3
- 084 「VE Program Learning I 価値追求の基礎」土屋裕・中神芳夫共著, 産能大出版部, 2003. 4
- 085 「VE Program Learning II 価値追求の実践1」土屋裕・中神芳夫共著, 産能大出版部, 2003. 4
- 086 「VE Program Learning III 価値追求の実践2」土屋裕・中神芳夫共著, 産業能率大学出版部, 2003. 11
- 087 「VE Program Learning IV 価値追求の管理」土屋裕・中神芳夫共著, 産業能率大学出版部, 2003. 11
- 088 「ティアダウン導入ガイド (短期間でコストダウンを実現する)」堀口敬著, 日刊工業新聞社, 2004. 12 (参考) 第2版2009. 9あり
- 089 「コストダウンの系譜 (わたしのVE史)」児玉啓著, 日本文学館, 2005. 5
- 090W 「建設プロジェクトのコストマネジメント (JR東日本のVE実践事例)」澤口学&東日本旅客鉄道・建設工事部共著, 同友館, 2005. 5
- 091 「土木VE実践の手引き」小泉泰通著, 山海堂, 2005. 7
- 092 「目的発想法 (仕事の価値を劇的に高める)」村上哲大著, ごま書房新社, 2005. 12 (参考) 同一題名・都市文化社1992. 10あり
- 093 「理論的発想でVE改革 (誰でもできる科学的VE)」豊田陽一著, ルネッサンスブックス発行/幻冬舎ルネッサンス発売, 2006. 10
- 094 「VEハンドブック」上野一郎監修, 土屋裕ほか編集代表, 日本バリューエンジニアリング協会発行/産業能率大学出版部発売, 2007. 12 (参考) 普及版2011. 2あり
- 095 「総合評価方式を勝ち抜く建設VEのススメ」小泉泰通著, 技術書院, 2008. 3
- 096 「先進企業の『原価力』 (価値を向上させながらコストを下げる)」若松義人著, PHPエディターズ・グループ発行/PHP研究所発売, 2008. 4
- 097W 「ワンランク上の問題解決の技術 (視点を変えるファンクション・アプローチのすすめ) <実践編>」横田尚哉著, ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2008. 7
- 098 「ティアダウン導入ガイド (コスト競争を勝ち抜くための成功のポイント) [第2版]」堀口敬著, 日刊工業新聞社, 2009. 9 (注) 第15章 原価企画を中心とした総合的なコストダウン活動の提案, P169-179
- 099 「WBSの再定義と使い方 (PMとSEのためのDTCN/WBSの方法)」江崎通彦著, 菊池博監修, 日本資材管理協会, 2010. 5 [PM: Project Management/SE: System Engineering] [WBS: Work Breakdown Structure]
- 100 「実践価値工学 (価値創造経営の視座) <基礎編> [第2版]」手島直明著, 日科技連出版社, 2010. 6 (参考) 類似題名2011. 2あり
- 101 「実践価値工学 (価値創造経営の視座) <応用編> [第2版]」手島直明著, 日科技連出版社, 2010. 6 (参考) 類似題名2011. 2あり
- 102 「改題版 はじめてのVE」土屋裕著, 日本バリューエンジニアリング協会, 2010. 6 (参考) 「VE」近代経営社1980. 11の改題版
- 103W 「問題解決のためのファンクショナル・アプローチ入門 (そもそもそれって誰のため? 何のため?)」横田尚成著, ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010. 8

Ⅲ. 2011 (平成23) 年以降

- 104 「VEハンドブック (1) (2) (3) [普及版]」上野一郎監修, 土屋裕ほか共編, 日本バリューエンジニアリング協会発行/産業能率大学出版部発売, 2011. 2
- 105 「価値創造経営の視座<基礎編> (実践価値工学)」手島直明著, 日科技連出版社, 2011. 2
- 106 「価値創造経営の視座<応用編> (実践価値工学)」手島直明著, 日科技連出版社, 2011. 2
- 107 「部品半減 (これならできる『究極のコスト革命』)」三木博幸著, 日本経済新聞出版社, 2011. 11
- 108 ナットク現場改善シリーズ「よくわかる『VA/VE』の本」八代弘編著, 山本泰三・中島和夫共著, 日刊工業新聞社, 2012. 2
- 109 「利益を最大化する コスト・イノベーション設計ガイドブック」佐藤嘉彦著, 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2012. 9
- 110 経営者新書 061 「利益を生み出す方程式 (組織改革手法)」瀬口龍一著, 幻冬舎メディアコンサルティング発行/幻冬舎発売, 2013. 5
- 111 DTCNシリーズNO. 4 「知恵を創り出すPMD手法」大竹和芳著, にじゅういち出版, 2013. 11 [PMD: 目的 (Purpose) と方法 (Method) のダイアグラム (Diagram)]
- 112 「コストデザイン (トヨタ/研究者の実践コミュニティ理論)」岡野浩・小林英幸共編, 大阪公立大学共同出版会, 2015. 3 (注) Part 3 5. 設計原価低減とVI (Value Innovation) 活動・RR (良品廉価) - CI (Cost Innovation) 活動, P124-131
- 113 「最新 日本式モノづくり工学入門 (イノベーション創造型VE/TRIZ)」澤口学著, 同友館, 2015. 3 (注) 第3章 VE (価値工学) 概論, P47-74
- 114 「VEの魂 (プロジェクト・リーダーの9割が誤解している本当のこと)」チーム310著 (佐藤嘉彦ほか共著), 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2015. 11 ※電子版あり
- 115W 「超解 問題解決で面白いほど仕事はかどる本」横田尚哉著, あさ出版, 2017. 1 ※電子版あり

B. デザイン・アプローチ技法/TRIZ/QFD/創造技法 (発想法)

[注1] デザイン・アプローチ技法: ワーク・デザイン (Work Design) /ブレイクスルー思考 (Breakthrough Thinking) /デザイン思考 (Design Thinking)

[注2] TRIZ: Teoriya Resheniya Izobreatatelskikh Zadatch (ロシア語) ⇒ The Theory of Inventive Problem Solving (その英訳) = 発明的問題解決理論

[注3] QFD: Quality Function Development = 品質機能展開

I. 1990 (平成2) 年以前

- 001 「経営の知恵 (独創性開発入門)」上野一郎著, 六興出版部, 1963. 7 (注) 価値分析-コストダウンへの応用, P213-222
- 002 「ワーク・デザイン (システム設計の新手法)」吉谷龍一著, 日刊工業新聞社, 1965. 6 (注) 4. 13 ワークデザインとヴァリエーションエンジニアリング, P211
- 003 「ワーク・デザイン」ジェラルド・ナドラー著, 村松林太郎ほか共訳, 建帛社, 1966. 8 (原著) Work Design, Gerald Nadler, Richard D. Irwin Inc., 1963
- 004 「ワークデザイン入門 (プログラム学習による)」師岡孝次著, 日科技連出版社, 1966. 11 (注) 2. 6 価値分析, P47-50
- 005 「独創力開発のすすめ (価値分析は独創力で花開く)」落合三雄著, 産能短大出版部, 1968. 3
- 006 「増補改訂版 シネクティクス (創造工学への道)」W.J. ゴードン著, 大鹿譲・金野正共訳, ラテイス発行/丸善発売, 1968. 4 (原著) Synectics, William J. Gordon, Harper & Brothers, 1961
- 007 オペレーションズ・マネジメント・シリーズ「理想システム設計 (ワークデザインの新しい発展)」ジェラルド・ナドラー著, 吉谷龍一訳, 東洋経済新報社, 1969. 11 (原著) Work Design: The Ideals Concept, Gerald Nadler, Richard D. Irwin Inc., 1967
- 008 「創造性の科学 (図解・等価変換理論入門)」市川亀久弥著, 日本放送出版協会, 1970. 5 [等価変換理論=市川亀久弥 (1915-2000) の創造技法]

- 009 「ワークデザインによる システム設計の実際」師岡孝次著, 日科技連出版社, 1971. 7
- 010 「新版 独創力を伸ばせ」A.F. オズボーン著, 上野一郎訳, ダイヤモンド社, 1971. 9 (原著) Applied Imagination: Principles and Procedure of Creative Thinking[3rd Edition], Alex F. Osborn, Charles Scribner Sons, 1963
- 011 「独創的発想法DAX」師岡孝次著, 日本生産性本部, 1971. 9 [DAX: Design Approach X=Work Design] [日本生産性本部⇒生産性出版]
- 012 「発明発想入門」G. アリトシュレル著, 遠藤敬一・高田孝夫共訳, アグネ, 1972. 5 (注) ARIZ: 発明課題の解決アルゴリズム→TRIZ
- 013 「ビジネスマンの思考革新」安本美典編著, 産能短大出版部, 1972. 8 (注) 第1章 第3節 機能中心に考えること, P32-53
- 014 「経営革新の技術 (ワーク・デザインのはなし)」古井丸昭二著, 日本経営図書, 1973. 12 (注) V. 3 機能展開, P198-203/V. 9 VEとの違い, P215-216
- 015 「KJ法とワーク・デザイン方式による 問題解決ワークブック」海辺不二雄監修, 小泉智義著, ダイヤモンド社, 1974. 5 (注) 第5章 目的を決定する本格的進め方, P78-123 [KJ法=川喜田二郎 (1920-2009) の創造技法]
- 016 「NM法のすべて (アイデア生成の理論と実践的方法)」中山正和著, 産業能率大学出版部, 1977. 3 [NM法=中山正和 (1923-2002) の創造技法] (参考) 増補版1980. 6あり
- 017 「創造工学 (等価変換創造理論の技術開発分野への導入とその成果)」市川龜久弥著, ラテイス発行/丸善発売, 1977. 12 (注) 6 [1] (8) VEの機能分析とcε辞典法, P362-363 (参考) 同一題名・開発社1992. 2あり
- 018 「NM法のすべて (アイデア生成の理論と実践的方法) [増補版]」中山正和著, 産業能率大学出版部, 1980. 6
- 019 経営生産実務シリーズ1「ワークデザイン技法」吉谷龍一著, 日刊工業新聞社, 1981. 4 (注) 第3章 1. 設計すべきシステムの機能決定 (ワークデザインにおける機能とVEにおける機能のちがう点), P28-31
- 020 「製品開発の創造的発想法 (新しい概念の開発)」伊藤利朗著, 技術評論社, 1980. 9
- 021 「創造開発技法ハンドブック」高橋誠編著, 日本ビジネスレポート, 1981. 3 (注) 64. VA法, P202-205
- 022 「新製品開発の知恵 (ヒントからアイデアへの構想)」中山正和著, 日本能率協会, 1982. 6 (注) 第6話 価値分析 (VE), P180-183
- 023 「発想法のすべて」中山正和著, 産業能率大学出版部, 1986. 4
- 024 プロのノウハウ「現場マンのアイデア発想 (あなたもアイデアマンになれる)」合原一夫著, 啓学出版社, 1986. 4
- 025 「新製品開発のための品質展開活用の実際」赤尾洋二著, 日本規格協会, 1988. 1
- 026 物流実践シリーズ理論と実務「ワークデザインによる 物流システム設計」日本物流管理協議会監修, 高橋輝男著, 白桃書房, 1990. 11

II. 1991 (平成3) 年~2010 (平成22) 年

- 027 「ブレイクスルー思考 (ニューパラダイムを創造する7原則)」ジェラルド・ナドラー&日比野省三共著, 佐々木元訳, ダイヤモンド社, 1991. 5 (原著) Breakthrough Thinking, Gerald Nadler & Shozo Hibino, Prima Publishing & Communications, 1990 (参考) 新付1997. 6あり
- 028 「創造工学 [増訂3版]」服部敏夫著, 開発社, 1992. 2 (注) 第27章 アイデアの開発手法, P390-425 (参考) 同一題名・ラテイス1977. 12あり
- 029 日経メカニカル別冊「機械技術者のための創造塾 (斬新な発想と豊かな感性を磨く)」日経メカニカル編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1992. 7
- 030 「グループ活動に役立つ アイデア・発想法」松田亀松著, 日科技連出版社, 1992. 8
- 031 「メカアイデア事典 (Part I-IV, Index)」日経メカニカル編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1993. 12
- 032 「ブレイクスルー・リエンジニアリング (50%のコストダウンがはかれる)」日比野省三・櫻井敬三・関昭二共著, 産業能率大学出版部, 1994. 5

- 033 「発想の技法（創造的アイデアを生み出す実践技法）」さとう秀徳著，日本能率協会マネジメントセンタ，1994．10
- 034 クレスト選書「はじめに仮説ありき（明日を拓く『技術屋魂』の世界）」佐々木正著，クレスト社，1995．11
- 035 「発想の瞬間（天才たちはいかにして発明・発見したか）」高橋誠著，PHP研究所，1996．8
（参考）改題加筆・文庫本版「ひらめきの法則」日本経済新聞出版社・2012．6あり
- 036 「右脳をフル活用する3分間発想法（楽しみながらアイデアが面白いほどわいてくる）」山口善民著，産業能率大学出版部，1997．4（注）第4章（1）VEチームで革新的アイデアを出す，P152－157
- 037 「はやわかり品質機能展開表45例」伊豫部将三著，日刊工業新聞社，1997．5
- 038 「新・ブレイクスルー思考（ニューコンセプトを創造する7つの原則）」ジェラルド・ナドラー&日比野省三共著，渡辺不二雄監訳，ダイヤモンド社，1997．6（原著）Breakthrough Thinking(Revised 2nd Edition), Gerald Nadler & Shozo Hibino, Prima Communications Inc., 1994
- 039 早稲田大学システム科学研究所叢書「システム思考とシステム技術」五百井清右衛門ほか共著，白桃書房，1997．6（注）第3編 ワークデザインによるシステム設計法，P107－20
- 040 「QFDガイドブック（品質機能展開の原理とその応用）」小野道照・永井一志共著，日本規格協会，1997．7
- 041 超発明術TRIZシリーズ2「やさしい事例に見る活用例＜導入編＞」ゲンリック・アルトシューラー著，三菱総合研究所IMプロジェクト推進室訳，日経メカニカル編集部編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1997．10（参考）2版1999．9あり
- 042 「アイデア発想の基本[集大成]（仕事に役立つノウハウ集）」さとう秀徳著，日本能率協会マネジメントセンタ，1997．10
- 043 超発明術TRIZシリーズ1「原理と概念に見る全体像＜入門編＞」ゲンリック・アルトシューラー著，遠藤敬一・高田孝夫共訳，日経メカニカル編集部編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1997．11（参考）2版1999．12あり
- 044 実際の設計選書「TRIZ入門（思考の法則性を使ったモノづくりの考え方）」実際の設計研究会編著，畑村洋太郎ほか共著，日刊工業新聞社，1997．12
- 045 「『ものづくり』経営革新（顧客価値創造プロセスの構築）」下村博史・坂瓜裕共著，生産性出版，1998．2
- 046 「実践的QFDの活用（新しい価値の創造）」赤尾洋二ほか監修，新藤久和編，日科技連出版社，1998．6
- 047 超発明術TRIZシリーズ3「図解40の発明原理＜テクニック編＞」ゲンリック・アルトシューラー著，日経メカニカル編集部編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1999．1
- 048 「図解TRIZ（革新的技術開発の技法）」山田郁夫監修，三菱総合研究所・知識創造研究部編著，日本実業出版社，1999．7
- 049 超発明術TRIZシリーズ2「やさしい事例に見る活用例＜導入編＞[2版]」ゲンリック・アルトシューラー著，三菱総合研究所知識創造研究部訳，日経メカニカル編集部編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1999．9
- 050 実際の設計選書「設計のナレッジマネジメント（創造設計原理とTRIZ）」中尾政之・畑村洋太郎・服部和隆共著，日刊工業新聞社，1999．12
- 051 超発明術TRIZシリーズ1「原理と概念に見る全体像＜入門編＞[2版]」ゲンリック・アルトシューラー著，遠藤敬一・高田孝夫共訳，日経メカニカル編集部編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1999．12
- 052 超発明術TRIZシリーズ4「TRIZを使った問題解決＜演習編＞」ブラディス・コッセ著，産能大TRIZ企画室監訳，日経メカニカル編集部編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2000．3
- 053 超発明術TRIZシリーズ6「クラシカルTRIZの技法＜理論編＞」Ideation International 著，産能大TRIZ企画室監訳・解説，日経メカニカル編集部編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2000．9
- 054 超発明術TRIZシリーズ5「創造的問題解決の技法＜思想編＞」ユーリ・サラマトフ著，三菱総合研究所知識創造研究チーム訳，日経メカニカル編集部編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2000

0. 1 1

- 055W 「VEとTRIZ（革新的なテクノロジーマネジメント手法入門）」澤口学著，同友館，2002. 3
- 056 「TRIZの理論とその展開（システムティック・イノベーション）」産業能率大学CPM・TRIZ研究会監修，産業能率大学出版部，2003. 4
- 057 「技術者のための問題解決手法 TRIZ」井坂義治著，普賢堂，2004. 2
- 058 「顧客価値創造ハンドブック（製造業からサービス業・農業まで感動を創造するシステム）」神田範明編著，顧客価値創造ハンドブック編集委員会編，日科技連出版社，2004. 6
- 059 丸善ライブラリー365「ブレイクスルー思考のすすめ」日比野創・日比野省三共著，丸善出版，2004. 8
- 060 「超思考法『パパ・ママ』創造理論（『異種結婚』で大ヒット商品をつくる）」日比野省三著，講談社，2004. 9
- 061 「新技術・新商品開発の極意（革新的発明に学ぶ創造のヒント）」飯田清人著，工業調査会，2004. 10
- 062 「図解でわかる 等価変換理論（技術開発に役立つ70のポイント）」等価変換創造学会編，日刊工業新聞社，2005. 10
- 063 「QFD・TRIZ・タグチメソッドによる 開発・設計の効率化（エクセル例題で活用のノウハウが修得できる）」今野勤ほか共著，日科技連出版社，2005. 11
- 064 「環境適合設計ツールの活用入門（コアツールLCA、QFDE、TRIZの効果的活用方法とその事例）」坂尾知彦編著，増井慶次郎ほか共著，日科技連出版社，2006. 1
- 065 ものづくり技術アドバンスト「図解 これでするTRIZ/USIT（技術者の創造性を開発する画期的手法）」粕谷茂著，日本能率協会マネジメントセンタ，2006. 6 [USIT: Unified Standard Inventive Thinking=結合的構造化発明思考法]
- 066 「『ひらめき』の設計図（創造への扉は、いつ、どこから、どうやって現れるのか）」久米是志著，小学館，2006. 6
- 067 日経ものづくりの本「ものづくりの教科書 革新のための7つの手法」日経ものづくり編，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，2006. 8（注）第6章 TRIZ，P201-251/第6章 QFD，P165-200
- 068 「開発設計のためのTRIZ入門（発明を生む問題解決の思考法）」笠井肇著，日科技連出版社，2006. 10（注）第5章 新機能実現のためのTRIZ，P103-111
- 069 「デザイン思考の道具箱（イノベーションを生む会社のつくり方）」奥出直人著，早川書房，2007. 2（注）この加筆修正・文庫本版2013. 11あり
- 070 「はじめよう！カンタンTRIZ（頭の片隅にあるアイデアをかたちにする本）」長谷部光雄・小池忠男共著，日刊工業新聞社，2007. 4
- 071 「ブレインライティング（短時間で大量のアイデアを叩き出す『沈黙の発想会議』）」高橋誠著，東洋経済新報社，2007. 11 ※電子版あり [ブレイン・ライティング: Brain Writing]
- 072 SANNOMANAGEMENTコンセプトシリーズ「バリューイノベーション（顧客価値・事業価値創造の考え方と方法）」産業能率大学総合研究所・バリューイノベーション研究プロジェクト編著，原田雅顕監修，産業能率大学出版部，2007. 12
- 073 「本当に役立つTRIZ（眼からうろこが！12の発明の原理だけでアイデア発想）」TRIZ研究会編，日刊工業新聞社，2008. 5（注）第3章 3. 1 製品の機能・問題が発生しているメカニズムを全員で見える化する，P22-28
- 074 「第3世代のQFD（開発プロセスマネジメントの品質機能展開）」永井一志・大藤正共編著，日科技連出版社，2008. 6
- 075 「はじめよう！TRIZで低コスト設計」小池忠男・長谷部光雄共著，日刊工業新聞社，2008. 12
- 076 「めっちゃ、メカメカ！リンク機構99→∞（機構アイデア発想のネタ帳）」山田学著，日刊工業新聞社，2009. 1
- 077 「研究開発における創造性」河野豊弘著，白桃書房，2009. 2
- 078 「良い製品=良い商品か（『ものづくり』から『価値づくり』へ）」福田収一著，工業調査会，2009. 9（注）第5章 これからの価値工学（プロセスや物語が価値を増大させる），P61-81

- 079 「第3世代のQFD事例集（品質機能展開と管理・改善手法との融合）」日科技連QFD研究部会編，日科技連出版社，2009. 12
- 080 「商品開発のための品質機能展開（知識変換のためのSEICモデルとQFD）」赤尾洋二編著，日本規格協会，2010. 3 [SEIC: Socialization, Externalization, Combination, Internalization=共同化・表出化・連続化・内面化]
- 081 JSQC選書「QFD（企画段階から質保証を実現する具体的方法）」日本品質管理学会監修，大藤正著，日本規格協会，2010. 5
- 082 「ビジネスのためのデザイン思考」紺野登著，東洋経済新報社，2010. 12 ※電子版あり

Ⅲ. 2011（平成23）年以降

- 083 「価値づくり経営の論理：日本製造業の生きる道」延岡健太郎著，日本経済新聞出版社，2011. 9
- 084 「革新的課題解決法」長田洋編，澤田学ほか共著，日科技連出版社，2011. 11 [TRIZ創造技法の改良]
- 085 「QFDとTRIZ（選ばれる商品の企画から開発）」井坂義治著，普賢堂，2012. 4
- 086 「デザイン思考と経営戦略」奥出直人著，NTT出版，2012. 5
- 087 「TRIZ発想法（お客様や上司からの無理難題をサクッと解決する）」本田秀行著，秀和システム，2012. 6
- 088 [日経ビジネス人文庫た15-1](#)「ひらめきの法則」高橋誠著，日本経済新聞出版社，2012. 6（参考）「発想の瞬間」PHP研究所・1996. 8の改題加筆・文庫本版
- 089 「価値創造の思考法」小阪裕司著，東洋経済新報社，2012. 11 ※電子版あり
- 090 「故障・不具合対策の決め手（I-TRIZによる原因分析・リスク管理）」スヴェトラナ・ヴィスネポルスキー著，黒澤慎輔訳，日刊工業新聞社，2013. 2
- 091 「リ・インベンション（概念[コンセプト]のブレークスルーをどう生み出すか）」三品和広&三品ゼミ共著，東洋経済新報社，2013. 3 [リ・インベンション: Re-Invention]
- 092 「高橋宣行の発想フロー（ワークデザインの手順）」高橋宣行著，日本実業出版社，2013. 9
- 093 「創発デザインの概念」松岡由幸編著，宮田悟志ほか共著，共立出版，2013. 10
- 094 [ハヤカワ文庫NF398](#)「デザイン思考の道工具箱（イノベーションを生む会社のつくり方）」奥出直人著，早川書房，2013. 11 ※電子版あり（参考）「デザイン思考の道工具箱」2007. 2の文庫本版
- 095 未来へつなぐデジタルシリーズ23「アイデア発想法と協同作業支援」宗森純ほか共著，共立出版，2014. 5
- 096 「トリーズ（TRIZ）の発明原理40（あらゆる問題解決に使える科学的思考支援ツール）」高木芳須著，ディスカヴァー・トゥエンティワン，2014. 8 ※電子版あり
- 097 [日経文庫1928](#)「ビジュアル アイデア発想フレームワーク」堀公俊著，日本経済新聞出版社，2014. 8（注）第4章 45. バリュー・エンジニアリング，P104-105
- 098 「技術者のイノベーション能力を高める思考テクニック I-TRIZ（天才の思考を移植する科学的方法論）」上村輝之著，日科技連出版社，2014. 10
- 099 「実践デザイン・シンキング（クリエイティブな思考で、ゼロ発想のイノベーションへ）」日経デザイン編，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2014. 12 ※電子版あり
- 100 「ものづくりのための創造性トレーニング：温故創新」渡邊嘉二郎ほか共著，コロナ社，2015. 2
- 101 「101デザインメソッド（革新的な製品・サービスを生む『アイデアの道工具箱』）」ヴィジェイ・クマー著，渡部典子訳，英治出版，2015. 2 ※電子版あり
- 102W 「最新 日本式モノづくり工学入門（イノベーション創造型VE/TRIZ）」澤口学著，同友館，2015. 3（注）第4章 TRIZ（革新的問題解決理論）概論，P75-89/第5章 TRIZ手法，P91-127
- 103W 「バリュー・プロポジション・デザイン（顧客が欲しがらる製品やサービスを創る）」アレックス・オスターワルダーほか共著，関美和訳，翔泳社，2015. 4
- 104 [日経文庫1332](#)「発想法の使い方」加藤昌治著，日本経済新聞出版社，2015. 4
- 105 「21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由」佐宗邦夫威著，クロスメディア・パブリッシング，2015. 8 ※電子版あり
- 106 「超図解『デザイン思考』でゼロから1をつくり出す」中野明著，学研プラス，2015. 11 ※電子版あり

版あり

- 107 工場管理 2015年12月臨時増刊号「トコトンやさしいアイデア発想法21事例」実践マネジメント研究会編, 日刊工業新聞社, 2015. 12
- 108 「サービス・リエンジニアリング(顧客の感動を呼ぶホスピタリティを低コストで実現する)」伊藤嘉博編著, 中央経済社発行/中央経済グループパブリッシング発売, 2016. 1 [ホスピタリティ: Hospitality=喜びの共有(おもてなし)]
- 109 「ブレイクスルー思考トレーニング(飛び抜けたアイデアを出す人がやっている)」ひもとあやか著, 日比野省三監修, 日本実業出版社, 2016. 2
- 110 「メカ屋のための脳科学入門(脳をリバースエンジニアリングする)」高橋宏和著, 日刊工業新聞社, 2016. 3 [機能→構造の順方向を設計とすると、構造→機能はリバースエンジニアリングの考え方](参考)続編2017. 7あり
- 111 「製品開発の問題解決アイデア出しバイブル(TRIZで開発アイデアを10倍に増やす!)」井坂義治著, 日刊工業新聞社, 2016. 5
- 112 「デザイン思考のつくりかた(実践企業とトップクリエイターに学ぶ成功のポイントと落とし穴)」日経デザイン編, 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2016. 5 ※電子版あり
- 113 「偉大な発明に学ぶアイデアのつくり方(思考展開ワークショップ)」黒須誠治監修, 三原康司著, 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2016. 6 ※電子版あり
- 114 日経BPムック「デザインシンキング入門(ビジネスの課題を創造的に解決する)」日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2016. 8 ※電子版あり
- 115 「ゼロから1を生む思考法(東大工学部教授が教える)」中尾政之著, 三笠書房, 2016. 8
- 116 「アイデアソン!(アイデアを実現する最強の方法)」須藤順・原亮共著, 徳間書店, 2016. 9 ※電子版あり [アイデアソン=アイデア+マラソンの造語(BS類似)]
- 117 「ものづくりの発想法(価値の創造のために)」渡邊嘉二郎・城井信正共著, 法政大学出版局, 2016. 10
- 118 「ブレイクスルーへの思考(東大先端研が実践する発想のマネジメント)」東京大学先端科学技術研究センター&神崎亮平共編, 東京大学出版会, 2016. 12
- 119 「創造力を鍛える マインドワンダリング(モヤモヤから価値を生み出す東大式トレーニング)」中尾政之ほか共著, 日刊工業新聞社, 2017. 2
- 120 「アイデア大全(創造力とブレイクスルーを生み出す42のツール)」読書猿著, フォレスト出版, 2017. 2
- 121 「チームで考える『アイデア会議』(考具 応用編)」加藤昌治著, CCCメディアハウス, 2017. 2 ※電子版あり
- 122 「ビジネス価値を最大化する発想法(世の中に役立つヒットアイデアのつくり方)」井上裕一郎著, 現代書林, 2017. 6
- 123 「続 メカ屋のための脳科学入門(記憶・学習/意識編)」高橋宏和著, 日刊工業新聞社, 2017. 7
- 124 JSQC選書「品質機能展開[QFD]の基礎と活用(製品開発情報の連鎖とその見える化)」日本品質管理学会監修, 永井一志著, 日本規格協会, 2017. 9

C. 開発工学・設計工学 [創造設計(構想設計/概念設計)・開発設計(詳細設計)・生産設計など]

／組立性・分解性設計(DFMA)／コンカレント・エンジニアリング・PLM

[注1] DFMA: Design for Manufacture and Assembly=組立性・分解性を考慮した設計

[注2] コンカレント・エンジニアリング: Concurrent Engineering=新製品開発プロセスを同時並行的に進めて、開発期間の短縮を図るもの

[注3] PLM: Product Lifecycle Management=製品ライフサイクル管理

I. 1990(平成2)年以前

- 001 「製品設計データブック」D.C.グリーンウッド編, 松下電器電化事業本部・技術研究所生産技術研究会訳, 日刊工業新聞社, 1964. 7(原著) Engineering Data for Product Design, Douglass C. Greenwood, McDraw-Hill Book Co., 1961

- 002 「創造工学による設計手順（アイデアからパテントまで）」ハロルド・R. ビュール著，科学と人間の会
創造性研究所訳，鹿島研究所出版会，1965. 10（原著）Creative Engineering Design, Harold R. Bu
hl, Iowa State University Press, 1960
- 003 「生産性設計入門」山村誠一著，白桃書房，1967. 6
- 004 設計工学シリーズ1「設計工学基礎」北郷薫著，丸善，1972. 6
- 005 設計工学シリーズ4「生産性設計」阿武芳朗編，丸善，1973. 11（注）13. 価値分析，P39
5-414
- 006 「エンジニアリング入門（創造的問題解決の技術）」エドワード・V. クリック著，渡辺真一ほか共訳，
ソーテック社，1976. 12（原著）An Introduction to Engineering & Engineering Design [2nd Edit
ion]，Edward V. Klick, John Willey & Sons Inc., 1965/1969
- 007 「エンジニアリングシステム設計工学」赤木新介著，共立出版，1982. 5
- 008 「開発工学入門（理論・実践・手法）」ダイヤモンド経営開発情報編集部編，開発工学研究会運営委員
会監修，ダイヤモンド社，1982. 11
- 009 「設計工学概論」長江貞彦編著，日刊工業新聞社，1983. 3
- 010 「商品開発（100のアドバイス）」星満著，日刊工業新聞社，1984. 2（注）第6章 商品開発を支
えるもの（VAの進め方と考え方），P102-123（参考）類似題名1988. 1あり
- 011 「社内標準化便覧」社内標準化便覧編集委員会編，日本規格協会，1985. 11（注）II. 8. 機能
分析，P291-349（参考）第2版1989. 12/第3版1995. 2あり
- 012 放送大学教材「設計工学（解析と総合）」阿武芳朗編著，放送大学教育振興会発行/日本放送出版協
会，1986. 3（注）1-設計概説，P9-19/14. 5 価値分析，P136-141（参考）同一題
名1990. 3あり
- 013 「新商品開発開発技法ハンドブック」高橋誠監修・編著，日本ビジネスレポート，1986. 7（注）
II 6. バリュアナリシス法，VA発想法，P295-301/VD（バリューデザイン）法，P302-
308/VEAM法，P309-314
- 014 「開発工学（シーズ-ニーズ・ジョイントテクノロジー）」大石不二夫編著，朝倉書店，1987. 9
- 015 「設計の方法（創造的設計へのアプローチ）」岸本行雄著，日科技連出版社，1987. 11（注）
1. 2（1）VAによるコストダウン，P206-208
- 016 「商品化設計（100のアドバイス）」星満著，日刊工業新聞社，1988. 1（注）47. VAとコス
トダウン，P94-95（参考）類似題名1984. 2あり
- 017 実際の設計選書「実際の設計（機械設計の考え方と方法）」畑村洋太郎編著，日刊工業新聞社，198
8. 7（参考）改訂新版2014. 12あり
- 018 「経験に基づいた機械設計のイロハ」宗孝著，日刊工業新聞社，1989. 2
- 019 「社内標準化便覧[第2版]」社内標準化便覧編集委員会編，日本規格協会，1989. 1（注）II.
10. 機能分析，P381-448（参考）第3版1995. 2あり
- 020 放送大学教材「設計工学（解析と総合）」塚田忠夫編著，放送大学教育振興会発行/日本放送出版協
会，1990. 3（注）1-設計と創造性，P9-20（参考）同一題名1986. 3あり

II. 1991（平成3）年～2010（平成22）年

- 021 日経メカニカル別冊「メカ設計塾①構想設計から機械要素の決め方まで/②基礎から学ぶ実践的メカト
ロ設計/③設計に必要な材料・製造技術の基礎と応用」日経メカニカル編，日経BP社発行/日経BP出版
センタ発売，1991. 5
- 022 「設計の原理（創造的機械設計論）」N. P. スー著，畑村洋太郎監訳，朝倉書店，1992. 4（原
著）The Principles of Design, Nam P. Suh, Oxford University Press Inc., 1990（参考）続編「公
理的設計」森北出版2004. 7あり
- 023 実際の設計選書「続・実際の設計（機械設計に必要な知識とデータ）」畑村洋太郎編著，実際の設計研
究会著，日刊工業新聞社，1992. 7（参考）改訂新版2017. 3あり
- 024 「コンカレント・エンジニアリング（顧客ニーズ対応の製品開発）」D. E. カーター&B. S. ベーカー共
著，メンター・グラフィックス・ジャパン訳，日本能率協会マネジメントセンタ，1992. 11（原著）C
oncurrent-Engineering: The Product Development Enviroment for the 1900s, Donald E. Carter & Barbar
a S. Baker, Addison-Wesley Publishing Company Inc., 1992

- 025 「コンカレント・エンジニアリングのすすめ方（早く、安く、高品質を実現する新技法『CE製品開発』のすべて）」鈴江齡夫著，日本能率協会マネジメントセンタ，1992. 12
- 026 計算力学とCAEシリーズ8「コンカレントエンジニアリング」福田収一著，培風館，1993. 1
- 027 実際の設計選書「機械設計の基礎知識（ばじめて設計をする人へ）」実際の設計研究会監修，米山猛著，日刊工業新聞社，1993. 3（注）第I部 3. 1 機能，P33-40
- 028 「回路設計心得ノート」山崎浩著，日刊工業新聞社，1993. 5
- 029 「実践 コンカレント・エンジニアリング」齊藤実著，工業調査会，1993. 7
- 030 東京大学機械工学3「機械設計（基本原理からマイクロマシンまで）」中島尚正著，東京大学出版会，1993. 10
- 031 「製品開発リードタイムの短縮（TPMとコンカレント・エンジニアリング）」鈴木徳太郎・山品元共編著，日本プラントメンテナンス協会発行／日本能率協会マネジメントセンタ発売，1994. 3 [TPM: Total Productive / Preventive Maintenance]
- 032 「徹底理解のための機械設計技術入門マニュアル」宗孝著，日刊工業新聞社，1994. 3（注）3. 8 価値分析マニュアル，P226-232
- 033 「工学設計（体系的アプローチ）」G. ポール & W. バイツ共著，ケン・ワラス編，設計工学研究グループ訳，培風館，1995. 2（原著）Engineering Design: A Systematic Approach, Gehard Pahl & Wolfgang Beits, Edited by Ken Wallas, The Design Council, 1988英語版（注）2. 1. 3 機能との相互関係，P27-31/3. 設計プロセス，P43-50/5. 概念設計，P65-182（参考）この改題改訂版「エンジニアリングデザイン [第3版]」森北出版2015. 2あり
- 034 「社内標準化便覧 [第3版]」社内標準化便覧編集委員会編，日本規格協会，1995. 2（注）II. 技法編 9. 機能分析，P383-450
- 035 「設計のムダ退治101」伊豫部将三著，日刊工業新聞社，1995. 3
- 036 「編集設計法と実際（ビルト・ブロック・システムからのアプローチ）」加藤頭剛・塩崎孝一共著，日刊工業新聞社，1995. 8
- 037 「新製品開発のすすめ方：新技術時代の売れる商品づくり」青柳全著，日本実業出版社，1995. 9
- 038 「設計期間1/2化のノウハウ（CADのムダとり、DRのムダとり）」関根憲一著，日刊工業新聞社，1995. 11 [CAD: Computer Aided Design] [DR: Design Review=設計審査]
- 039 日経メカニカル別冊「勘どころ設計技術 [応用編] 原価低減マニュアル」日経メカニカル編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1995. 12
- 040 「生産コスト削減のための製品設計（BoothroydのDFMA）」日経メカニカル編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1996. 3（原著）Product Design for Manufacturing & Assembly, Geoffrey Boothroyd, Marcel Dekker Inc., 1994（参考）改訂版1998. 7あり
- 041 「設計の凡ミス退治101」伊豫部将三著，日刊工業新聞社，1996. 5
- 042 日経メカニカル別冊「勘どころ設計技術<シリーズI>部品設計の基礎/<シリーズII>機械要素の選択/<シリーズIII>製品設計の基礎」日経メカニカル編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1996. 9
- 043 「製品アセスメントとリサイクル設計事例（自動車・家電製品・OA機器等）」永田勝也監修，クリーン・ジャパン・センタ編，クリーン・ジャパン・センタ，1996. 9
- 044 生産管理 理論と実践14「新製品開発管理」小島敏彦編著，日刊工業新聞社，1996. 10
- 045 実際の設計選書「続々 実際の設計（失敗に学ぶ）」畑村洋太郎編，実際の設計研究会著，日刊工業新聞社，1996. 10
- 046 「環境にやさしい設計ガイド」EPA編，梅田富雄訳，工業調査会，1996. 11（原著）Design for the Environment (Product Life Cycle Design Guideline Manual), Government Institutes Inc., 1992
- 047 「リサイクル設計の技術（製品解体を容易にする新設計手法、ISO14000対応）」中村茂弘著，日本能率協会マネジメントセンタ，1996. 12（注）第3章 1. 3 VE手法とリサイクル対策，P76-84
- 048 「設計の技術（製造業における源流管理）」長岡一三著，森北出版，1997. 3（注）2. 8 価値分析（VA），P127-130
- 049 「設計の経験則101」伊豫部将三著，日刊工業新聞社，1997. 3

- 050 「ライフサイクルデザインのための組立性・分解性工学」山際康之著，工業調査会，1997. 5
- 051 社会理工学シリーズ「製品開発論」今野浩ほか共編，圓川隆夫ほか共著，日科技連出版社，1997. 6（注）8. 2 VE，P143-146
- 052 「創造的魅力製品の開発（TQMの新たな展開）」納谷嘉信ほか共著，日科技連出版社，1997. 7 [TQM: Total Quality Management]
- 053 日経メカニカル別冊「勘どころ材料技術（18製品の実例に学ぶ材料活用法）」日経メカニカル編，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，1997. 7
- 054 「地球に優しい未来技術（分解+組立容易性、パテントMAP解析）」特許・リサイクル対策研究会編，発明協会，1997. 7
- 055W 「製品開発のコストマネジメント（原価企画からコンカレント・エンジニアリングへ）」谷武幸編著，中央経済社，1997. 11
- 056 「生産コスト削減のための製品設計（BoothroydのDFMA）[改訂版]」日経メカニカル編，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，1998. 7
- 057 「実践 機械設計< I. 初級編>（クリエイティブ・エンジニアリングをめざして）」創造的設計研究会編，工業調査会，1998. 12
- 058 「実践 機械設計< II. 中上級編>（クリエイティブ・エンジニアリングをめざして）」創造的設計研究会編，工業調査会，1999. 2
- 059 [ブルーバックス B-1256](#)「リサイクルを助ける製品設計入門（分解まで考えたモノづくり）」山際康之著，講談社，1999. 6
- 060W 実際の設計選書「設計のナレッジマネジメント（創造設計原理とTRIZ）」中尾政之・畑村洋太郎・服部和隆共著，日刊工業新聞社，1999. 12
- 061 岩波講座 現代工学の基礎1「設計の方法論<設計系III>」畑村洋太郎著，岩波書店，2000. 5（注）4 創造的設計の方法，P83-138
- 062 「コンカレントエンジニアリングによる設計の改革術」有泉徹著，日刊工業新聞社，2000. 5
- 063 「リサイクル設計入門」機械設計編集部&電子技術編集部共編，日刊工業新聞社，2000. 6
- 064 「リサイクル製品設計ハンドブック」中村茂弘編著，特許・リサイクル対策研究会著，日刊工業新聞社，2000. 10
- 065 「ユーザー優先のデザイン・設計（新しい商品開発の考え方）」山岡俊樹編著，共立出版，2000. 10
- 066 「機械創造学」畑村洋太郎・小野耕三・中尾政之共著，丸善出版，2001. 3
- 067 「開発設計工学（独創的な商品開発のための工学的手法）」中沢弘著，工業調査会，2001. 3
- 068 「自動車プロジェクト開発工学（環境、ITS、運動性能、物流）」藤岡健彦ほか共著，技報堂出版，2001. 5 [東京大学工学部『自動車工学』講義テキスト] [ITS: Intelligent Transport System]
- 069 「図解 企業風土革新（コンカレント・マネジメントで会社が変わる!）」斎藤実著，東洋経済新報社，2001. 8
- 070 「はじめてのロボット創造設計」米田宏ほか共著，講談社，2001. 9（参考）改訂第2版2013. 7あり
- 071 「製品開発のための材料力学と強度設計ノウハウ」鯉淵興二・小久保邦雄共著，日刊工業新聞社，2002. 4
- 072 「環境調和型製品のモノづくり戦略と設計」山際康之著，日刊工業新聞社，2002. 4
- 073 「独創的ロボットの研究開発（夢のあるロボットと役に立つロボット）」山藤和男・田中孝之共著，養賢堂，2002. 6
- 074 「製造業のPLM・CPC戦略（生き残りを賭けたビジネスモデルとシステム構築）」山田太郎著，日本プラントメンテナンス協会，2002. 7
- 075 岩波講座 現代工学の基礎15「設計の理論<設計系II>」富山哲男著，岩波書店，2002. 12
- 076 「創造的工学設計の方法（新しいモノ創りの原理）」川面恵司・須賀雅夫共編，養賢堂，2003. 3（注）第4章 VEによる製品設計，P52-76
- 077 「製造業のPLMと技術経営（売れる製品・サービスをつくるビジネスモデルと情報戦）」山田太郎著，ネクステック監修，日本プラントメンテナンス協会，2003. 6
- 078 「PLM入門（CRM、SCMに続く新経営手法）」池田良夫監修&編著，近藤敬・木村友則ほか共

- 著, 日本能率協会マネジメントセンタ, 2003. 6
- 079 「製品ライフサイクルプランニング (ISO/TR 14062の実践)」小林英樹著, オーム社, 2003. 6
- 080 機械工学基礎コース「創造設計学」中尾政之著, 丸善出版, 2003. 9
- 081 「サステナブルデザイン (製品開発における環境への配慮)」山際康之著, 丸善出版, 2004. 4
- 082 「公理的設計 (複雑なシステムの単純化設計)」Nam Pyo Suh 著, 中尾政之・飯野謙次・畑村洋太郎共訳, 森北出版, 2004. 7 (原著) Axiomatic Design, Nam Pyo Suh, Oxford University Press Inc., 2001 (参考) 「設計の原理」朝倉書店1992. 4の続編
- 083 「BOMによるモジュール化設計・生産入門」新井啓介著, 日刊工業新聞社, 2005. 5 [BOM: Bill of Materials=部品表]
- 084 「設計思考展開入門 (設計者の頭の中を整理する)」有泉徹著, 日刊工業新聞社, 2005. 6
- 085 「実践! PLM戦略 (製造業の製品競争力優位の経営手法)」山田太郎著, ネクステック監修, PHP研究所, 2005. 6
- 086 速読ビジネスシリーズ「成功するコンカレント・エンジニアリング (すり合わせを重視するプロセス革新のマネジメント)」斎藤実著, 日科技連出版社, 2005. 8
- 087 「ここが知りたいロボット創造設計」米田完ほか共著, 講談社, 2005. 9
- 088 「実践デジタルものづくり (エレクトロニクス産業におけるPLM)」井上泰生著, 白日社, 2005. 11
- 089W 「QFD・TRIZ・タグチメソッドによる開発・設計の効率化」今野勤ほか共著, 日科技連出版社, 2005. 11
- 090 「実践PLM構築」澤村淑郎監修, PLM研究グループ著, 工業調査会, 2006. 4
- 091 「設計の英語って、どない使うねん! (現場設計者が教える 実務で使う技術英語術)」山田学著, 日刊工業新聞社, 2006. 8
- 092 「めっちゃ使える! 機械便利帳 (すぐに調べる設計者の宝物)」山田学著, 日刊工業新聞社, 2006. 10
- 093W 「開発設計のためのTRIZ入門 (発明を生む問題解決の思考法)」笠井肇著, 日科技連出版社, 2006. 10
- 094 「技術の創造と設計」畑村洋太郎著, 岩波書店, 2006. 11 (注) 3. 創造学のすすめ, P127-254/4. 考えを作る, P255-301
- 095 「これならできるロボット創造設計」坪内孝司ほか共著, 講談社, 2007. 2
- 096 やさしいシリーズ19「より多くの人を使いやすい アクセシブルデザイン入門」星川安之・佐川賢共著, 日本規格協会, 2007. 2 [アクセシブル・デザイン: Accessible Design]
- 097 「初歩から学ぶ設計手法 (多彩なツールにふり回されないための戦略的な設計開発の考え方)」大富浩一著, 工業調査会, 2007. 5
- 098 「機械工学便覧 デザイン編『β1設計工学』」日本機械学会編, 日本機械学会, 2007. 5 (注) 第4章 4. 1. 3 源流管理としてのコストダウンと原価企画, P152-153/4. 1. 4 VE, P153-154
- 099 「図解でわかるPLMシステムの構築と導入」久次昌彦著, 日本実業出版社, 2007. 11
- 100 「設計の科学 価値づくりの設計」石井浩介・飯野謙次共著, 養賢堂, 2008. 4 (注) 第2章 競争に勝つための価値の認識と機能解析, P26-36
- 101 「設計検討って、どないすんねん! (現場設計者が教える仮説検証型設計のポイント)」山田学編著, 青山繁男ほか共著, 日刊工業新聞社, 2008. 7
- 102 「エンジニアリングデザイン (製品設計のための考え方)」ナイジェル・クロス著, 荒木光彦監修, 別府俊幸・高橋栄共訳, 培風館, 2008. 7 (原著) Engineering Design Methods; Strategies for Product Design (4th Edition), Nigel Cross, John Wiley & Sons Ltd., 2008 (注) Part 2 6. 目標の明確化, P65-76/7. 機能の確立, P77-87/8. 要求の設定, P89-100/9. 特性の決定, P101-112/12. 細部の改良 (バリューエンジニアリング), P143-158
- 103 「創造設計の技法 (東大創造設計演習に学ぶ設計の奥義)」中尾政之・濱口哲也・草加浩平共著, 日科技連出版社, 2008. 8 [創造設計=要求機能 (目的: コトバ) →設計解 (手段: カタチ)]
- 104 「『設計力』こそが品質を決める (デンソー品質を支えるもう一つの力)」寺倉修著, 日刊工業新聞

- 社，2009. 1（注）第7章 構想設計の進め方（実施例），P169-191
- 105 「技術者・エンジニアの知的生産性向上（新・技術KI計画）」中村素子・勝田博明共著，日本能率協会マネジメントセンタ，2009. 3
- 106 角川oneテーマ21A-99「創造はシステムである（『失敗学』から『創造学』へ）」中尾政之著，角川書店発行／角川グループパブリッシング発売，2009. 5 ※電子版あり
- 107 日経ものづくりの本「[実践] モジュラーデザイン（時代が求めている新しい解）」日野三十四著，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2009. 7
- 108 「失敗学と創造学（守りから攻めの品質保証へ）」濱口哲也著，日科技連出版社，2009. 10
- 109 「設計モジュール化技法（図面を描かずに設計する!）」経営システム研究所編，日刊工業新聞社，2010. 3
- 110 「図解 形状設計ノウハウハンドブック（デザイン科学が読み解く熟練設計者の知恵と工夫）」松岡由幸著，日刊工業新聞社，2010. 7

Ⅲ. 2011（平成23）年以降

- 111 「射出成形特性を活かすプラスチック製品設計法」本間精一著，日刊工業新聞社，2011. 7
- 112 「最大実体公差（図面って、どない描くねん！LEVEL3）」山田学著，日刊工業新聞社，2011. 9
- 113 「組立性・分解性設計（資源循環を進めるモノづくり）」山際康之著，講談社，2011. 9
- 114 「機械工学ハンドブック」中島尚正ほか共編，朝倉書店，2011. 10（注）IV-2 1 設計方法論，P625-635
- 115 日経ものづくりの本「設計のムダ取り 公差設計入門（コストと品質のバランスを最適化する）」栗山弘著，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2011. 11
- 116 実際の設計選書「設計者に必要なソフトウェアの知識」実際の設計研究会監修，藤田和彦著，日刊工業新聞社，2011. 11
- 117 「『設計現場力』25のポイント（企画から生産準備までの設計プロセスを改善する）」郷保直著，日刊工業新聞社，2012. 1
- 118 「基礎から学ぶ実用機械の設計」渡辺康博著，オーム社，2012. 2 ※電子版あり
- 119 「現代設計工学」石川晴雄編著，中山良一・井上全人共著，コロナ社，2012. 4（注）2. 3 概念設計（機能設計），P25-32
- 120 「環境配慮型設計（エコが征す商品開発）」畠中伸敏著，日科技連出版社，2012. 4
- 121 「思いどおりの『樹脂部品設計』ここがポイント」プロトラブス著，水野操編著，日刊工業新聞社，2012. 5
- 122 「知ってなアカン！機械技術者 モノづくり現場の『構想設計力』入門」古川功ほか共著，日刊工業新聞社，2012. 6
- 123 「設計現場力が見える化するレベル診断（25のポイントでレベルがわかる、伸びる）」郷保直著，日刊工業新聞社，2012. 6
- 124 「製造業の業務改革推進者のためのグローバルPLM（グローバル製造業の課題と変革マネジメント）」三河進著，日刊工業新聞社，2012. 6
- 125 新コロナシリーズ58「製品開発の心と技（設計者をめざす若者へ）」安達瑛二著，コロナ社，2012. 12（注）付録 思い出の「トヨタ主査制度」，P150-163
- 126 「めざせ！最適設計 実践・公差解析」鈴木真人・萩原あづみ共著，日刊工業新聞社，2013. 1
- 127 「設計センスを磨く空間認識力『モチアゲ』（勘と論理力と『ポンチ絵スキル』をアップ!）」山田学著，日刊工業新聞社，2013. 4
- 128 「分解デザイン工学：バラバラにすることで価値を生む」山際康之著，東京大学出版会，2013. 4
- 129 「ついてきなあ！品質とコストを両立させる『超低コスト化設計法』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2013. 6
- 130 「はじめてのロボット創造設計 [改訂第2版]」米田完ほか共著，講談社，2013. 7
- 131 「図解入門 現場で役立つ機械設計の基本と仕組み」大高敏男著，秀和システム，2013. 8
- 132 「間違いだらけの設計レビュー（なぜ重大な問題を見逃すのか?）」森崎修司著，日経SYSTEMS編，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2013. 9（参考）改訂版2015. 9あり

- 133 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい機械設計の本」Net P. E. Jp編著，横田川昌浩ほか共著，日刊工業新聞社，2013. 9
- 134 「自動車設計革命（TPPに勝つもの作りの原点）」長谷川洋三著，中央公論新社，2013. 11
[TPP:Trans-Pacific Economic Partnership Agreement=環太平洋経済連携協定]
- 135 「エンジニアリングデザイン入門（技術の創造と倫理の基礎）」柴田尚志監修，林和伸ほか共著，理工図書，2013. 11（注）2. 1 開発のプロセス，P23-25/2. 7 仕様を決める，P47-52/2. 8 構想する，P52-57/4. 6 価値向上手法（VA・VE・VI），P133-134
- 136 「知ってなアカン！機械技術者 構想検討のための新常識」佐野義幸ほか共著，日刊工業新聞社，2013. 12（注）3-3 VEの手法でコストダウン，P130-138
- 137 「ついてきなあ！悪い設計と良い設計変更」國井良昌著，日刊工業新聞社，2014. 3
- 138 「創造デザイン工学」田浦俊春著，東京大学出版会，2014. 6（注）第Ⅲ部 概念設計の理論と方法論，P115-141
- 139 「成功する新商品開発プロジェクトのすすめ方」和田憲一郎著，同文館出版，2014. 6
- 140W 「原価低減と性能改善を両立させる製品開発」泉丙完著，ブイツーソリューション，2014. 6
- 141 「知ってなアカン！機械技術者 そんな設計じゃ罰せられますよ」古川功著，日刊工業新聞社，2014. 7
- 142 「リーン製品開発方式（トヨタが実践する価値創造の確かな進め方）」アレン・ウォード&デュワード・ソベック著，稲垣公夫訳，日刊工業新聞社，2014. 9
- 143 「ドキュメント トヨタの製品開発（トヨタ主査制度の戦略、開発、制覇の記録）」安達瑛二著，同文館出版，2014. 9
- 144 「製品開発の『見える化』99」北山厚ほか共著，日本能率協会マネジメントセンタ，2014. 10
- 145 「ついてきなあ！やさしい研修編『機械設計の企画書と設計書と構想設計』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2014. 11
- 146 実際の設計選書「実際の設計（機械設計の考え方と方法）[改訂新版]」実際の設計研究会著，日刊工業新聞社，2014. 12
- 147 「エンジニアリングデザイン（工学設計の体系的アプローチ）[第3版]」G. パール & W. バイツほか共著，ケン・ワラスほか英訳編，金田徹訳者代表，森北出版，2015. 2（原著）Engineering Design: A Systematic Approach (Third Edition)，G Pahl & W Beits & J Feldhusen & K H Grote, Edited by K W allas & L Blessing, Springer London, 2007英語版（注）第4章 製品開発プロセス，P133-152/第5章 設計課題の明確化，P153-166/第6章 概念設計，P167-234/第7章 実体設計，P235-449（参考）「工学設計」培風館1995. 2の改題改訂版
- 148 実際の設計選書「設計者に必要なメカトロニクスの基礎知識」実際の設計研究会監修，松本潔著，日刊工業新聞社，2015. 2
- 149W 「製品開発段階からの部品共通化によるコスト低減プロセス」塩見浩介著，同友館，2015. 2
- 150 「手戻りのない先行開発（QFDの限界を超える新しい製品実現化手法）」加藤芳章著，日刊工業新聞社，2015. 5（注）第2章 2-1 7つの着眼点で機能・属性分析を行う，P42-49
- 151 「箱の設計（自由自在に『箱』を生み出す基本原理と技術）」ポール・ジャクソン著，牧尾晴喜訳，ピー・エヌ・エヌ新社，2015. 7（原著）Structural Packing: Design Your Own Boxes and 3-D Forms, Paul Jackson, Laurence King Publishing Ltd., 2012
- 152 「間違いだらけの設計レビュー（なぜ重大な問題を見逃すのか？）[改訂版]」森崎修司著，日経S Y S T E M S編，日経B P社発行/日経B Pマーケティング発売，2015. 9※電子版あり
- 153 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい『コンカレント・エンジニアリング』の本」原嶋茂著，日刊工業新聞社，2015. 11
- 154 岩波ブックレットN0.939「アクセシブルデザインの発想（不便さから生まれる『便利製品』）」西川安之著，岩波書店，2015. 11
- 155 「初級設計者のための実例から学ぶ プラスチック製品設計入門」大塚正彦著，日刊工業新聞社，2015. 12
- 156 「ついてきなあ！組立知識と設計見積り力で『設計職人』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2016. 1
- 157 「新人製品設計者と学ぶ プラスチック製品設計の基礎」伊藤英樹著，日刊工業新聞社，2016. 3

- 158 「設計の科学 創造設計思考法（失敗知識のウェブ脳モデル）」飯野謙次著，普賢堂，2016. 6
- 159 「製品開発と市場創造：技術の社会的形成アプローチによる探究」宮尾学著，白桃書房，2016. 6
- 160 「よくわかる『設計手法』活用入門」大富浩一著，日刊工業新聞社，2016. 7
- 161 「ケーススタディで理解する公差設計入門（設計者は図面で語れ!）」プラーナー編，栗山晃治・木下悟志共著，日刊工業新聞社，2016. 8
- 162 「設計ミス防止のための検図の着眼点と進め方（ベテランの技を盗め!）」岡村大著，日刊工業新聞社，2016. 8
- 163 「製品開発は『機能』にばらして考えろ（設計者が頭を抱える『7つの設計問題』解決法）」オリンパス・ECM推進部監修，緒方隆司著，日刊工業新聞社，2017. 2
- 164 実際の設計選書「続・実際の設計（機械設計に必要な知識とデータ）[改訂新版]」畑村洋太郎編著，実際の設計研究会著，日刊工業新聞社，2017. 3
- 165 「よくわかる デライト設計入門（ワクワクするような製品は天才がいなくとも作れる）」大富浩一著，日刊工業新聞社，2017. 4 [デライト：Delight=使い手の琴線に触れる魅力品質のこと]
- 166 「図解 機械設計手ほどき帖」渡辺康博著，日刊工業新聞社，2017. 4（注）第2章 設計構想の立て方，P23-54
- 167 「実践！エンジニアリング・チェーン・マネジメント（IoTで設計開発革新）」日野三十四著，日刊工業新聞社，2017. 8 [IoT：Internet of Things]

D. 商品企画（Product Planning）・建築企画／ロングセラー・ヒット商品

I. 1990（平成2）年以前

- 001 「商品開発のための消費者研究」小嶋外弘・梅澤伸嘉・佐藤隆三共著，日科技連出版社，1972. 1
- 002 「消費者ニーズをどうとらえるか（間違いのない商品開発）」小嶋外弘・梅澤伸嘉共著，ダイヤモンド社，1977. 1
- 003 「ヒット商品企画法（生活感覚を盗みとれ）」小嶋庸晴著，ダイヤモンド社，1979. 9
- 004 「これだけは知っておきたい 建築の企画と設計の知識」嶋富士夫著，鹿島出版会，1981. 4
- 005 「飽和時代のヒット商品開発法（消費者満足をどうとらえ、どう商品化するか）」大里壽著，ダイヤモンド社，1984. 4
- 006 「消費者からみた耐久消費財の製品評価」秋庭雅夫ほか共著，日刊工業新聞社，1986. 3
- 007 「ヒット商品開発の決め手」トリガー編集部編，日刊工業新聞社，1987. 10
- 008 「商品コンセプト開発マニュアル」梅澤伸嘉著，日本能率協会総合研究所・東京生活研究室編，日本能率協会総合研究所，1988. 3
- 009 「建築企画のシステムアプローチ」酒井宏之&大成建設・事業化戦略プロジェクト共著，井上書院，1989. 3
- 010 アポロシリーズ「ヒット商品の開発と販促の極意（製品開発の仕掛人が発想術の全データを公開!）」山田正吾著，山海堂，1989. 11
- 011 「女性流ヒット商品開発法（女性の感性が成熟市場をリードする）」フェミニン・マーケティング研究会著，産業能率大学出版部，1989. 11
- 012 「建築企画の発想法」ゆう建築設計事務所ほか共著，学芸出版社，1989. 12 ※電子版あり
- 013 「実践・建築の企画営業」秋山英樹著，清文社，1989. 12（参考）最新版1995. 8／全訂版2016. 1あり
- 014 「ズバリ！ヒットの着眼点（ヒット商品24にみる、売れる理由）」徳丸壮也著，世界文化社，1990. 7
- 015 「製品企画とデザイン（その理論と開発事例）」森本真佐男・森典彦共編著，日刊工業新聞社，1990. 9
- 016 「建築企画論（建築のソフトテクノロジー）」日本建築学会編，技報堂出版，1990. 10

II. 1991（平成3）年～2010（平成22）年

- 017 「ヒット商品の法則（独創的新製品を生む研究開発マネジメント）」日本機械学会編，三田出版会，1

991. 1

- 018 「建築企画の実践法」ゆう建築設計事務所&都市建築経営研究所共著，学芸出版社，1992. 3
(注) 4. 2 設計期間におけるコスト管理の手法=VEの導入，P204-211
- 019 「ヒット商品の発想（新製品はいかに創られるか）」日本機械学会編，三田出版会，1992. 10
- 020 「不動産・建築企画提案書作成のテクニック」秋山英樹著，清文社，1992. 10
- 021 「魅力工学（魅力的な空間・商品を生み出す技術）」魅力工学研究フォーラム編，海文堂出版，1992. 12
- 022 「建築企画のフロンティア（企画の手順から実践ノウハウまで）」田村誠邦著，建設物価調査会，1993. 1
- 023 「ヒット商品のコンセプト創り（無から有を生み出す方法）」伊藤利朗編著，につかん書房，1993. 4
- 024 「ソフト時代の建築企画（建築が変わる？建築企画が変える!）」日本建築学会編，海文堂出版，1994. 6
- 025 「価格・流通激変期のヒット商品学」田中理英著，産業能率大学出版部，1994. 9
- 026 「建築企画の実践（建築プロフェッションの新たな展開）」建築企画の実践編集委員会編，彰国社，1995. 3
- 027 「消費者ニーズの法則（消費者が買う理由、買わない理由）」梅澤伸嘉著，ダイヤモンド社，1995. 4
- 028 「建築企画の実際（建築主が知っておきたい95のポイント）」永森一夫著，経済調査会，1995. 6
- 029 「実践・建築の企画営業 [最新版]」秋山英樹著，清文社，1995. 8（参考）全訂版2016. 1あり
- 030 「商品企画七つ道具（新商品開発のためのツール集）」飯塚悦功監修，神田範明編著，日科技連出版社，1995. 11
- 031 「図解 商品開発大全（大型ヒット商品、定番商品を創り出す方法）」小久保厚郎・黒沢磨紀共著，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，1996. 3
- 032 「ヒット商品企画のたて方・開発の仕方（ベネフィットで差をつける方法）」桧山純一著，中央経済社，1996. 4 [ベネフィット: Benefit=便益・使用効果]
- 033 「プロダクト・イノベーション（競争優位をつくる戦略的商品企画）」岩間元著，ダイヤモンド社，1996. 6
- 034 「実践 ヒット商品・有望マーケットを発掘する」三宅隆之著，同友館，1996. 8
- 035 「日本企業の商品開発」織畑基一著，白桃書房，1996. 11（注）第1部 第3章 商品コンセプトの創造，P67-89
- 036 「ヒット商品を生み、ベストセラー・ロングセラーにするための条件」西田弘著，産業能率大学出版部，1997. 1
- 037 「共創時代の商品企画ガイド（ヒットを生む商品企画7つ道具）」神田範明・樋口正美共著，産業能率大学出版部，1998. 7
- 038 商品企画七つ道具実践シリーズ第1巻「ヒットを生む商品企画七つ道具・はやわかり編」神田範明編著，日科技連出版社，2000. 6
- 039 商品企画七つ道具実践シリーズ第2巻「ヒットを生む商品企画七つ道具・よくわかる編」神田範明編著，日科技連出版社，2000. 6
- 040 商品企画七つ道具実践シリーズ第3巻「ヒットを生む商品企画七つ道具・すぐできる編」神田範明編著，日科技連出版社，2000. 11
- 041 「『定番・ロングセラー商品』つくり方・育て方」たかはたけいこ著，双葉社，2000. 10
- 042 「建築企画事典」日本建築学会編，彰国社，2000. 11
- 043 「開発者列伝（あのヒット商品はこうして生まれた）」日経エレクトロニクス編，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，2001. 4
- 044 「魅力工学の実践（ヒット商品を生み出すアプローチ）」朝野熙彦編，海文堂出版，2001. 8
- 045 「超ロングセラー大図鑑（花王石鹸からカップヌードルまで）」竹内書店新社編集部編，竹内書店新社，2001. 9
- 046 「長期ナンバーワン商品の法則（『新市場創造型商品』の強さと開発の手法）」梅澤伸嘉著，ダイヤモンド

ンド社， 2001. 11

047 岩波アクティブ新書 56「商品企画のシナリオ発想術（モノ・コトづくりをデザインする）」田中央著，岩波書店，2003. 1 ※電子版あり

048 「新規商品企画の成功学」小寺次夫著，生産性出版，2003. 4

049 「ロングセラー・デザイン：文房具から椅子まで」コロナ・ブックス編集部編，平凡社，2003. 7

050 「売れる色・売れるデザイン」高坂美紀著，ピー・エヌ・エヌ新社，2003. 9

051 「パッケージで売れる（売れるパッケージ商品を創るための知識・常識）」伊吹卓著，クリエイト日報，2003. 10

052 「ヒット商品開発（MIPパワーの秘密）」梅澤伸嘉著，同文館出版，2004. 9 [MIP：Market Initiating Product=新市場創造型商品]（参考）第2版2009. 12あり

053 「マネジメント時代の建築企画」日本建築学会編，技報堂出版，2004. 11

054 「あのヒット商品のナマ企画書が見たい！」戸田覚著，ダイヤモンド社，2005. 1（参考）新付2013. 2あり

055 「独創の条件（画期的商品はいかに生まれたか）」石井正道著，NTT出版，2005. 11 ※電子版あり

056 「代替品の戦略（攻撃と防衛の定石）」根来龍之著，東洋経済新報社，2005. 12

057 「実践・建築事業の企画提案」秋山英樹著，清文社，2006. 8

058W 日経ものづくりの本「ものづくりの教科書 革新のための7つの手法」日経ものづくり編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2006. 8（注）第4章 商品企画7つ道具，P123-164

059 「消費者心理のわかる本（マーケティングの成功原則55）」梅澤伸嘉著，同文館出版，2006. 9

060 かんきビジネス道場「商品開発戦略シナリオ（ヒット商品を生み出す『8×8図解ノート』）」広野穰編著，中谷吉孝著，かんき出版，2007. 3

061 「ヒット商品が面白いほど開発できる本（開発の段取りから販売戦略まで基本ポイント35）」太田昌宏著，中経出版，2007. 7

062 「図解！売れる色とデザインの法則（色・形・パターン・配置に潜むロングセラーの秘密）」高坂美紀著，秀和システム，2007. 9（参考）類似題名・日本能率協会マネジメントセンタ2007. 12&ソフトバンククリエイティブ2009. 12あり

063 「日経トレンディ ヒット商品航海記（日本人の消費はこう変わった）」北村森・山下柚実共著，日本経済新聞出版社，2007. 11（注）第4章 日経トレンディでたどるヒット商品20年史（1987-2006），P113-213

064 「売れる商品デザインの法則」木全賢著，日本能率協会マネジメントセンタ，2007. 12（参考）類似題名・秀和システム2007. 9&ソフトバンククリエイティブ2009. 12あり

065 「ロングセラーの発想力（売れる！アイデアが身につく）」齋藤学著，ダイヤモンド社，2008. 5 ※電子版あり

066 「ヒットの秘密は『運鈍根』（なぜ、あなたの会社にはこれが作れなかったのか?）」夏目幸明著，平凡社，2008. 4

067 「ヒット商品を生む観察工学（これからのSE、開発・企画者へ）」山岡俊樹編著，共立出版，2008. 6 [SE：System Engineer]

068 「ヒット商品打率（数打つから当たらない）」梅澤伸嘉著，同文館出版，2008. 8

069 「カスタマイズの法則（ロングセラーを生み出す）」富澤豊著，日本実業出版社，2008. 9

070 「建築・まちづくりの夢をカタチにする力（建築企画事例から考える環境のデザイン）」日本建築学会編，彰国社，2008. 9

071 「速解！『売れる商品を創る』開発マーケティング50のステップ」石川憲昭著，日刊工業新聞社，2008. 11

072 「商品企画のための統計分析（Rによるヒット商品開発手法）」神田範明監修，石川朋雄ほか共著，オーム社，2009. 3 [R=オープンソースの汎用性統計ソフト]

073 祥伝社新書 167「理系の企画力！（ヒット商品は『現場感覚』から）」宮永博史著，祥伝社，2009. 8 ※電子版あり

074 「ヒット商品開発（MIPパワーの秘密）[第2版]」梅澤伸嘉著，同文館出版，2009. 12

075 ソフトバンク新書 120「売れるデザインの発想法」木全賢著，ソフトバンククリエイティブ，200

9. 12 (参考) 類似題名・日本能率協会マネジメントセンタ2007. 12&秀和システム2007. 9
あり
- 076 「マンガで読む『ロングセラー商品』誕生物語<完全保存版>」藤井龍二著, PHP研究所, 2010.
3 (参考) 日本企業激闘編2014. 3あり
- 077 「消費者心理のしくみ(ヒット商品を生む!)」梅澤伸嘉著, 同文館出版, 2010. 5
- 078 「日経ヒット商品番付1971-2010」日経MJ(流通新聞)編, 日本経済新聞出版社, 201
0. 12

Ⅲ. 2011(平成23)年以降

- 079 「売れるデザインの鉄則30」日経デザインブランド向上委員会編, 日経BP社発行/日経BPマー
ケティング発売, 2011. 6
- 080 「文具の流儀(ロングセラーとなりえた哲学)」土橋正著, 東京書籍, 2011. 8 ※電子版あり
- 081 「1からの商品企画」西川英彦・廣田章光共編著, 碩学舎発行/中央経済社発売, 2012. 2
- 082 「商品企画できない社員は知らない(商品力アップのための38の定石とタブー)」太田昌宏著, クロス
メディア・パブリッシング発行/インプレスコミュニケーションズ発売, 2012. 2 ※電子版あり
- 083 「1億人に買われるメガヒット商品のつくりかた」稲船敬二著, 中経出版, 2012. 3 ※電子版あり
- 084 「『コト発想』からの価値づくり(技術者のマーケティング思考)」谷地弘安著, 千倉書房, 201
2. 5
- 085 「パッケージデザインの教科書」日経デザイン編, 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2
012. 12(参考)第2版2014. 12/第3版2017. 6あり
- 086 「消費者ニーズ・ハンドブック(ロングセラー商品を生み出す240の法則)」梅澤伸嘉著, 同文館出
版, 2013. 1
- 087 「新・あのヒット商品のナマ企画書が見たい」戸田覚著, ダイヤモンド社, 2013. 2 ※電子版あり
- 088 TACビジネススキルBOOK「あのヒット商品はなぜ売れるのか?(気軽に読むマーケティングのツ
ポ)」金森努監修, TAC出版事業部, 2013. 4
- 089 「よい製品とは何か(スタンフォード大学伝説の『ものづくり』講義)」ジェイムズ・L. アダムズ著,
石原薫訳, ダイヤモンド社, 2013. 6 ※電子版あり (原著) Good Products: Bad Products, James L. Ad
ams, The McGraw-Hill Companies Inc., 2012
- 090 「神田教授のNeoP商品企画ゼミナール(ヒット商品を生み出すシステム)」神田範明著, 日科技連
出版社, 2013. 8
- 091 「売れる商品は感性工学がある(人の意思決定の9割は『気分])」椎塚久雄著, ベストセラーズ, 2
013. 8
- 092 「ロングセラー商品のデザインはここが違う!(あの商品は、なぜ売れ続けるのか?)」日経デザイン
編, 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2013. 11
- 093 NIKKEI BUSINESS経営教室「ロングセラーが会社をダメにする(ヒット商品は消費者に聞
け)」大山健太郎著, 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2013. 12
- 094 「ザ・ヒント(ヒット商品の誕生秘話大百科)」TOブックス編集部編, TOブックス, 2014. 2
- 095 「マンガで読む『ロングセラー商品』誕生物語<日本企業激闘編>」藤井龍二著, PHP研究所, 20
14. 3 ※電子版あり
- 096 「コレが欲しかった!と言われる『商品企画』のきほん」末吉孝生著, 翔泳社, 2014. 3 ※電子版
あり
- 097 「日本発!世界のヒット商品」毎日新聞社経済部編, 毎日新聞出版, 2014. 10
- 098 「ロングセラーを呼ぶマーケティング(通販の天才がついに明かす売り続ける商品づくりと宣伝・セー
ルス戦略)」ハリー・A.セル著, 幻冬舎メディアコンサルティング発行/幻冬舎発売, 2014. 10 ※電
子版あり
- 099 「パッケージデザインの教科書[第2版]」日経デザイン編, 日経BP社発行/日経BPマーケティン
グ発売, 2014. 12 ※電子版あり (参考)第3版2017. 6あり
- 100 「『あっ、欲しい!』のつくり方(1%に売れば99%儲かる)」幸本陽平著, 日本経済新聞出版社,
2015. 7 ※電子版あり
- 101 「ヒット商品誕生の秘密」古田鶴彦著, PHP研究所, 2015. 8

- 102 「一流ビジネスマンは誰でも知っているヒットの原理（売れるプラン作成の基本）」高杉康成著，日経B P社発行／日経B Pマーケティング発行，2015．9 ※電子版あり
- 103 「折りたたみ家具グッドデザインのつくり方（ヒット商品はどやうやって生まれるのか？発想から商品化までを公開）」泉里志著，誠文堂新光社，2015．9
- 104 「トヨタ式A3プロセスで開発（A3用紙1枚で手戻りなくヒット商品を生み出す）」稲垣公夫・成沢俊子共著，日刊工業新聞社，2015．9
- 105 「30年売れて儲かるロングセラーを意図してつくる仕組み」梅澤伸嘉著，日本経営合理化協会出版局，2016．1
- 106 「実践・建築の企画営業 [全訂版]」秋山英樹著，清文社，2016．1
- 107 「コンセプトのつくり方（たとえば商品開発にも役立つ電通の発想法）」山田壮夫著，朝日新聞出版，2016．3 ※電子版あり [広告代理店・電通]
- 108 「製品開発と市場創造：技術の社会的形成アプローチによる探求」宮尾学著，白桃書房，2016．6
- 109 「サービスデザイン（フレームワークと事例で学ぶサービス構築）」山岡俊樹編著，共立出版，2016．6
- 110 「ロングセラーパッケージ大全」日経デザイン編，日経B P社発行／日経B Pマーケティング発売，2016．6 ※電子版あり
- 111 「戦わずロングセラーにする『強い売りモノ [M I P]』の創り方」梅澤伸嘉著，同文館出版，2016．9
- 112 「ヒット商品を生み出す最良最短の方法（商品開発者1000人の実践から引き出した24の秘訣）」濱島太著，こう書房，2016．12 ※電子版あり
- 113 「ファジー・フロントエンド活動における技術革新創成（100社の事例を実証データ検証）」櫻井敬三著，文眞堂，2017．1 [ファジー・フロントエンド：Fuzzy Front-end=曖昧な始まりの意味⇒製品開発前活動（イノベーション論では、アイデア創出からコンセプト構想までの試行錯誤的な段階を呼ぶ）]
- 114 日経B Pムック「ビジネスのアイデアがどんどん出る本（毎日の仕事に悩むビジネスパーソン・商品企画・マーケッター必読）」日経デザイン編，日経B P社発行／日経B Pマーケティング発売，2017．4 ※電子版あり
- 115 「パッケージデザインの教科書 [第3版]」日経デザイン編，日経B P社発行／日経B Pマーケティング発売，2017．6 ※電子版あり
- 116 「ヒット商品は『足し算と引き算の法則』でできる！」起業家大学著，主藤孝司監修，宝島社，2017．8
- 117 「儲かる100億円ヒット商品をつくる！（カテゴリーキラー戦略）」村松勝・吉田隆太共著，セルバ出版発行／創英社・三省堂書店発売，2017．8